

|    |          |                       |  |
|----|----------|-----------------------|--|
| 校訓 | 自律 敬愛 進取 | 目指す学校像<br>[スクールミッション] | ■生徒の将来の幸せのために支援および指導し、生徒が成長できる学校<br>■実践的な水産教育を行い、社会の形成者として有為な人材を育成する学校<br>■産官学と連携し、水産・海洋関連産業や地域産業に貢献する学校<br>■地域と協働し、地域の担い手の育成等、地域の期待に応える学校 |
|----|----------|-----------------------|--|

| 重点目標                   | 短期(本年度)努力目標                                    | 目標達成のための方策  | 担当<br>及び<br>主管 | 自己評価   |           |  | 外部評価           |    |   |   |   |  |  |
|------------------------|--|---|----------------|--|-----------|--|----------------|----|---|---|---|--|--|
|                        |  |   |                | 取組と達成状況  | 評価<br>達成度 | 改善策  | 学校関係者評価<br>11名 |    |   |   |   | 提言・コメント  |  |
|                        |  |   |                |  |           |  | A              | B  | C | D | E |  |  |
| 1. わかる・できる授業の展開        | ① 完成年度となる新学習指導要領に基づいた、適切な実施の点検・改善の取り組みを推進する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領に対応した適切な学習評価を行う。</li> <li>新しい学習ツールに対応した適切な授業を行い、定着を図る。</li> <li>公開授業などを通じ、ICTスキルの向上を図り、授業改善に繋げる。</li> <li>目的を明確にし主体的な授業を行い、ICTを最大限利用した授業を展開する。</li> </ul> | 教務<br>各科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な教員研修でICT機器を活用した授業のきっかけをつくることできた。</li> <li>「授業力向上プロジェクト」の研究授業を全職員で授業参観・研修する機会を設けることできた。</li> </ul>   | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>観点別評価について見直すことがあまりできなかったため、次年度の課題として取り組みたい。</li> </ul>  |                | 9  |   |   |   | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●重点目標1について</li> <li>・何度か授業の様子などを見させてもらう機会がありましたが、ICTを活用し、生徒に分かりやすい説明をしておられたと思います。</li> <li>・タブレットを活用した授業改善は少しずつ進んでいると感じる。中学校でも一人一台端末を活用した授業改善に取り組んでいるので、生徒のスキル、授業での効果的な利用法など、情報交換をしながら進められるとよいと思う。</li> <li>・授業参観の時間が無いので難しいが、生徒と接する中で課題に取り組む姿勢は見える。興味・関心が持てる授業と将来の目標があれば成長すると思います。</li> <li>・ICTの理解度が判別できる指標があれば良い。</li> </ul>                 |
|                        | ② 一人一台端末を有効に活用した学習指導を展開する。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態をふまえ、ICTも活用しながら全ての生徒にとって「わかる」指導方法を工夫する。</li> <li>授業を大切にさせ、課題提出などの学習に関する約束を守らせる。</li> </ul>  | 教務<br>各科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>総合実習時にも、フォームを使い振り返り等を行った。日々の授業でスクールタクトを使うようになり、生徒一人ひとりに分かりやすく伝えることができた。</li> </ul>  | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>継続した教員研修が必要である。ICT支援員と連携しながら先生方のニーズに沿ったものを計画し、授業力向上に繋げたい。</li> </ul>  |                | 10 |   |   |   | 1  |  |
|                        | ③ わかりやすく、きめ細やかな授業を実践し、基礎学力の定着および学力の向上を図る。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて個別に指導を行いながら、基礎学力の定着を目指した。また、スクールタクト・Classroomでのノート配布やルビ振り等、支援が必要な生徒も授業についていきやすいような工夫をした。</li> </ul>  | 教務<br>各科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて個別に指導を行いながら、基礎学力の定着を目指した。また、スクールタクト・Classroomでのノート配布やルビ振り等、支援が必要な生徒も授業についていきやすいような工夫をした。</li> </ul>                                       | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の生徒の取り組みはおおむね良好だった。一方で、課題が提出できない生徒が一部で見られた。授業の意図や将来とのつながりを踏まえ、学習に向かう姿勢について再確認させていく必要がある。</li> </ul>                      |                | 10 |   |   |   | 1  |  |
| 2. 社会人としての必要な資質の確立     | ① 傾聴する姿勢を身に付け、他者と良好な人間関係を構築しようとする態度を育成する。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会が主体となり、生徒が取り組めるあいさつ運動を行う。</li> <li>あいさつや時間厳守、身の回りの環境整備など社会人として必要な資質を育成する。</li> </ul>  | 生徒<br>舎務<br>各科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶については、生徒会を中心に朝のあいさつ立番などをおこない、少しずつ改善しているが、言葉遣いに関して全校生徒で考え実行できる取り組みは不十分であった。</li> <li>あいさつや時間厳守は概ね良好であったが、一部登校時間を守れない生徒がいた。</li> </ul>          | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会を中心に挨拶や言葉遣いの大切さや公共での振る舞いなど、生徒自身が考え、行動できる企画を考えさせ、その実行を後押ししたい。</li> </ul>  | 2              | 9  |   |   |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●重点目標2について</li> <li>・職員全員が同じベクトルに向かって指導することが大切である。</li> <li>・ルールを守れない生徒には段階的な指導を行うと共に保護者からも理解を得る。</li> <li>・何度か水産高校を訪問させていただきましたが、生徒の皆さんに対してとても良い印象を持っています。</li> <li>・各行事に参加する生徒さんの姿は好印象です。初めての県体での体育祭も生徒会を中心によく動いていたと思います。課題研究発表会でも、どの生徒も真剣に取り組んでいる様子がうかがえました。</li> <li>・部活動の部員確保の問題は喫緊の課題と言える。(生徒の成長、多様な居場所)一方で、教員や生徒の負担緩和との両立も必要。</li> </ul> |
|                        | ② あいさつ、返事を大切にし、コミュニケーション能力の育成を図る。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>教師と生徒、生徒相互の意思疎通ややりとりを大切に授業を行う。</li> <li>心身の健康問題の早期発見に努め、適切に支援する。</li> <li>社会人としての必要な資質の育成と基本的習慣を確立させる。(服装・頭髪・携帯電話についての規則を守らせる)</li> </ul>                        | 保健<br>生徒       | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員会で「朝食」の大切さを確認し、朝食にみそ汁を飲もうというテーマを決めて水高祭で生徒主体で展示発表に取り組んだ。</li> <li>上位大会への出場やコンクールでの入賞など、満足できる結果を残した部もあったが、部員不足から満足に大会へ出場できない部もあった。</li> </ul> | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>心のアンケートを学期に1回の実施し、いじめアンケートやアンケートQUを参考に心身の健康問題について早期対応に努める。</li> <li>部活動の加入から継続した活動となるよう、部活動紹介において明確な活動内容を生徒へ伝える。</li> </ul> |                | 11 |   |   |   |  |  |
|                        | ③ 生徒の自己理解の促進と自己有用感の育成を図り、前向きな学校生活に繋げる。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会人としての必要な資質の育成と基本的習慣を確立させる。(服装・頭髪・携帯電話についての規則を守らせる)</li> </ul>  | 保健<br>生徒       | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員会で「朝食」の大切さを確認し、朝食にみそ汁を飲もうというテーマを決めて水高祭で生徒主体で展示発表に取り組んだ。</li> <li>上位大会への出場やコンクールでの入賞など、満足できる結果を残した部もあったが、部員不足から満足に大会へ出場できない部もあった。</li> </ul> | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>心のアンケートを学期に1回の実施し、いじめアンケートやアンケートQUを参考に心身の健康問題について早期対応に努める。</li> <li>部活動の加入から継続した活動となるよう、部活動紹介において明確な活動内容を生徒へ伝える。</li> </ul> |                | 11 |   |   |   |  |  |
|                        | ④ 身だしなみ、時間を守る、場に相応しい行動をとるなど、ルール、マナーを守る態度を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>衣替えの制度を廃止したが、生徒が自己判断で自由に様々な着用パターンをしており、複数回指導したが、思うような効果がでなかった。</li> </ul>  | 生徒             | <ul style="list-style-type: none"> <li>衣替えの制度を廃止したが、生徒が自己判断で自由に様々な着用パターンをしており、複数回指導したが、思うような効果がでなかった。</li> </ul>   | B-        | <ul style="list-style-type: none"> <li>服装について、次年度は年度当初に教員と生徒の共通理解がはかれるように示す。</li> </ul>  |                | 9  | 2 |   |   |  |  |
| 3. ましい勤労観および将来進路指導の充実  | ① 将来の進路を見据えた資格取得に向けて、情報の提供や指導体制を整備し、結果に繋げる。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格試験用教材の更新と充実を図り、指導のための環境を向上させる。</li> <li>生徒に目的意識を持たせ、資格取得率の向上を目指す。</li> <li>地元企業セミナーやインターンシップ、企業訪問やバスツアーなどを効果的に行う。</li> </ul>                                   | 進路<br>各科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格試験用教材について、危険物試験など特定の試験対策教材は充実してきた。</li> <li>1年生の資格試験合格率が例年より低かった。3年生の海技士試験については補習を計画し、最後まで粘らせた。</li> </ul>                                    | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得用教材について、幅広く教材の充実を図りたい。</li> <li>資格取得の意義を考えさせ、クラスでモチベーションを上げる取組をする。</li> <li>科として補習計画を確立し実行する。</li> </ul>                | 2              | 9  |   |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●重点目標3について</li> <li>・進路指導に関しては売り手市場ということもあり積極的に手を打たれていると感じた。</li> <li>・資格取得の結果について、一覧表を作成したほうがよい。</li> <li>・将来を見据えたキャリア教育について、企業セミナーやインターンシップなど効果的に行われていると感じる。</li> <li>・人手不足であるが、企業は有為な人材を求めている。情報ツールに精通する事は必須で、社会に出てからも学び続ける事が出来る生徒を育てることが大切であると考える。</li> </ul> |  |
|                        | ② 生徒の個性や適性、能力に応じた計画的なキャリア教育を推進する。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なツールを利用して生徒状況の把握に努め、進路目標の早期設定に努める。</li> <li>進路情報の収集と整理を適切に行い、最新の情報を生徒・保護者および担任へ提供する。</li> <li>求人票を始めとする進路データの電子化を推進し、生徒端末からのアクセスを可能とする。</li> </ul>             | 進路<br>各科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーへの参加事業所へ就職が内定した生徒もあり、有効な情報収集機会となっている。</li> <li>企業・大学見学ツアーは、生徒の反応からも実施した効果は高いと思われる。</li> </ul>   | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーやインターンシップ参加企業と生徒の進路希望との組み合わせを継続的に行う。</li> </ul>   | 3              | 8  |   |   |   |  |  |
|                        | ③ 生徒・保護者への時宜を得た進路情報を提供し、早期の進路目標設定を支援する。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路情報の収集と整理を適切に行い、最新の情報を生徒・保護者および担任へ提供する。</li> <li>求人票を始めとする進路データの電子化を推進し、生徒端末からのアクセスを可能とする。</li> </ul>   | 進路<br>各科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度 Classroom に進路情報を掲載した。ペーパーレスは進んだが、保護者へ情報が伝わったかどうか分からない。</li> <li>進路データの電子化は進めることができてきた。</li> </ul>   | B+        | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアパスポートの有効利用について研究する。</li> <li>進路データの電子化について、担当者の努力に負うところが大きく作業の負担を図りたい。</li> </ul>                                       | 1              | 9  |   |   |   |  | 1  |
| 4. 人権教育、道徳教育、特別支援教育の推進 | ① 校内組織及び支援体制を充実し、研修や啓蒙など計画的な取り組みを行う。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に各学年で人権・同和教育LHRを実施する。</li> <li>定期的に人権・同和教育だよりを発行する。</li> <li>教職員を対象に人権・同和教育の研修会を実施する。</li> </ul>  | 人権同<br>和教      | <ul style="list-style-type: none"> <li>予定通り人権・同和教育LHRを実施することができた。</li> <li>人権・同和教育だよりの発行回数が少なかった。</li> </ul>   | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に合わせた人権同和教育LHRを実施する。</li> <li>人権・同和教育だよりを少なくとも学期に1回の発行を目指す。</li> </ul>   |                | 8  | 1 |   |   | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●重点目標4について</li> <li>・人権教育は日々の積み重ねなので、日常の出来事から常に意識をもつ事が大切。</li> <li>・人権問題が生徒一人ひとりの生活や感情とどのように繋がるのか、考えさせる機会があれば良いと思う。</li> </ul>  |
|                        | ② あらゆる教育活動と共生を身につけさせる。                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に各学年で人権・同和教育LHRを実施する。</li> <li>定期的に人権・同和教育だよりを発行する。</li> <li>教職員を対象に人権・同和教育の研修会を実施する。</li> </ul>  | 人権同<br>和教      | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の研修会で、外部講師を招いて人権問題の歴史について学んだ。引き続き人権問題について学ぶ機会を設定したい。</li> </ul>  | B         | <ul style="list-style-type: none"> <li>他の分掌と連携して、障がいのある方やSNSのトラブルについての情報を発信していきたい。</li> </ul>  |                | 8  | 1 |   |   | 2  |  |

| 評価計画                  |   |   |  | 自己評価  |   |  | 外部評価           |   |   |   |   |  |
|-----------------------|---|---|--|---|---|--|----------------|---|---|---|---|--|
| 重点目標                  | 短期(本年度)努力目標   | 目標達成のための方策  | 担当<br>及び<br>主管   | 取組と達成状況   | 評価<br>達成度   | 改善策  | 学校関係者評価<br>11名 |   |   |   |   | 提言・コメント  |
|                       |   |   |  |   |   |  | A              | B | C | D | E |  |
| 5. 水産・海洋教育を担う学校づくりの推進 | ① 魅力ある教育活動を積極的に情報発信し、生徒募集に努める。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>体験入学、ホームページ、SNS等を充実させ、生徒募集を活性化させる。</li> <li>地域の方や園児・中学生を対象とした体験乗船や課題研究等を通して地域との連携を図る。</li> <li>生徒自身が出前授業や出迎授業を行い、本校の取組を地域に発信する。</li> <li>生徒が主体的に地域活動へ参加できる取り組みを行う。</li> </ul>                | 総務<br>各科   | <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクールは今年度も2度実施した。アンケートの結果を見ると概ね好評であった。</li> <li>ポスターカレンダーを作成し、中学校、まちづくりセンター、地元企業に配布し、学校のPRに努めた。</li> <li>生徒募集に努めたが、目標とする人数に達することが出来なかった。</li> </ul> | B+  | <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの発信は継続して行うが、決まった教員のみでの更新となっているので全員で取り組みたい。</li> <li>人気がある中学生体験航海を生徒募集と直結させる方策を科で検討する。</li> </ul> | 4              | 7 |   |   |   | <p>●重点目標5について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、課題研究で地域との連携した活動や、地域で高校の学びを生かして貢献する様子など、教育課程外で生徒の活躍が多くみられたと思います。そのような活動をより情報発信していくことができるのではないかと思います。</li> <li>地域への広報誌やSNS等での発信、対外的な場での発表等、水産教育の特徴を知って貰うよう努力しておられる。</li> <li>課題研究発表会、実習製品の販売活動等は広く市民に水産高校の教育活動を理解してもらうのに効果的である。</li> <li>学校の施設や設備を活用した関係機関との連携事業を今後も実施した方がよい。</li> <li>中学校へ出前授業はよい取組なので、実施する中学校が増えるといいと思う。</li> <li>水産高校の教育について、卒業後の就職や収入の状況に加えて、水産以外の領域にも繋がるスキルおよび社会的貢献を発信していくことが大切であると思う。</li> </ul> <p>●重点目標6について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海洋教育の未来はまだまだ広がると思う。新しい可能性や情報の発信は必要。</li> <li>インスタグラムの定期的な更新など、情報発信に努める(両科、部活動、神海丸など)</li> </ul> |
|                       | ② コンソーシアム、学校運営協議会と連携をし、地域との繋がりをよりいっそう深め、開かれた学校づくりを推進する。 | 各科<br>舎務  | <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校へ出前授業は1校で実施したが、市内の大規模校で実施出来たことはよかった。</li> <li>今年度は、「しまねふるさとフェア」に参加し広島で校外販売を行った。「すくすく祭り」、「水高祭り」、「まちセンの祭り」など各種イベントに参加し成果をあげた。</li> <li>地域活動へ例年以上に生徒自らが自主的に参加することができた。</li> </ul> | B+  | <ul style="list-style-type: none"> <li>出前授業の内容を変え、市内の中学生がより興味を持つことが出来る内容に変える。</li> <li>今後も寮生から様々な企画提案を発信できるよう取り組む。</li> </ul> | 6  | 5              |   |   |   |   |  |
| 6. 新しい時代に対応した取組の展開    | ① 教職員のICTスキルの向上を図り、より一層授業改善や業務改善に繋げる。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業、教員研修などを通し、ICTスキルの向上を図り、授業改善に繋げる。</li> <li>SNSを利用した定期的な発信と周知を行う。</li> <li>今年度中に新たな保護者連絡ツールを導入する。</li> <li>学科改編について協議を重ね、中学生にとって魅力的な学習内容になるように検討する。</li> <li>総合入学者選抜の準備を適切に行う。</li> </ul> | 総務   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を活用した公開授業を今年度も実施した。今後は公開授業の回数を増やすことを検討したい。</li> <li>ICT支援員と連携しながら教員のICTスキル向上に繋げることができた。</li> </ul>  | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動採点などの機材活用を研修していきたい。</li> <li>ICT支援員と連携しながら、先生方の業務軽減に繋がるよう対策していきたい。</li> </ul>                     |                | 9 |   |   | 2 |  |
|                       | ② SNSを活用した情報発信に取り組む。                                    |   | 各科   | <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用した情報発信については概ね実施できた。</li> </ul>   | B+  | <ul style="list-style-type: none"> <li>インスタグラムの更新が滞った時期があったので、工夫しながら更新する。</li> </ul>   | 3              | 8 |   |   |   |  |
|                       | ③ 保護者連絡のデジタル化について、適切に推進する。                              |   | 総務   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「さくら連絡網」の導入について計画的に実施することができた。</li> </ul>  | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>速やかな情報発信ができるよう、校内体制を整える。</li> </ul>   | 1              | 7 |   |   | 3 |  |
|                       | ④ 新しい時代に対応した学科のあり方の検討を進める。                              |   | 総務   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他校視察や情報収集を行い、学科改編検討委員会において、新学科についての協議を重ねた。</li> </ul>  | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の引き続き協議を重ね、魅力あるカリキュラムとなるよう検討する。</li> </ul>  |                | 7 |   |   | 4 |  |
|                       | ⑤ 新入試制度のスムーズな発信を図る。                                     |   | 総務   | <ul style="list-style-type: none"> <li>総合型選抜について時間をかけて準備し、実施することができた。</li> </ul>  | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の結果を検証し、次年度の選抜方法等について検討する。</li> </ul>  |                | 7 |   |   | 4 |  |